

# 令和 8 年度固定資産路線価評価業務委託仕様書

## 1. 目 的

令和 9 年度固定資産評価替えに係る固定資産税の適正な路線価を付設することを目的とする。

## 2. 委託業務の内容

- ①固定資産税に係る路線価について評価を行い、その結果を報告する。
- ②評価の対象とする路線の見直しと評価を行い、その結果を報告する。

## 3. 委託業務の対象

- ①評価の対象とする路線数は、2, 5 0 0 路線とする。ただし、新規の路線の付設、廃止等により路線数が変動した場合は、協議の上の対応とする。
- ②②－②による見直しに係り、対象路線の追加、削除について検討を行う。

## 4. 価格時点

路線の評価の価格時点は、令和 8 年 1 月 1 日とする。

## 5. 委託期間

路線価の評価は契約締結の翌日から、令和 8 年 1 1 月 3 0 日までとする。

## 6. 結果の報告及び成果品

評価の報告は、下記成果品に所要の事項を記載して報告するものとし、報告部数は各 2 部（成果品⑤除く）及び電子データとする。

### 成果品      路線価評価

①路線価評価調書及び電子データ（路線要因分析一式・路線価評点付一式）    ②評価価格一覧及び電子データ    ③路線に付帯する画地確定書及び電子データ    ④路線価図（路線番号のみの物と路線価格のある物）及び電子データ    ⑤（一財）資産評価システム研究センターに提供する路線価等の電子データ    ⑥その他、必要が生じた場合は協議の上の対応とする。

## 7. 提出期限

成果物の提出期限は、令和 8 年 1 1 月 3 0 日とする。

## 8. 提出先

北秋田市 財務部 税務課 市税係

## 9. その他

- (1) 評価に当たっては、事前の意見交換・情報交換等を通じ、固定資産税評価の地域性等に十分留意しなければならない。
- (2) 受託者は、委託者からの要請があるときは、委託業務の進捗状況を委託者に報告しなければならない。
- (3) 受託者は、委託者から交付された関係資料（電子データを含む）の保管・管理を厳重にし、委託業務の処理以外に使用してはならない。
- (4) 受託者は、委託業務で知り得た事項を他人に漏らしてはならない。